

## 第 8 章 計画の評価と進行管理

### 8-1. 目標値の設定

本計画におけるまちづくりの方針及び誘導方針に基づき実施される施策の達成状況を客観的に評価するための評価指標を定めます。

評価指標	現況値	中間値	目標値
居住誘導区域の人口密度	68.7 人/ha (平成 27 (2015) 年)	68.4 人/ha (令和 12 (2030) 年)	65.6 人/ha (令和 22 (2040) 年)
誘導施設の施設数	10 施設 (令和 3 (2021) 年)	10 施設以上	10 施設以上

### 8-2. 計画の進行管理

尾張旭市立地適正化計画は、概ね 20 年後の令和 22 年を目標とする長期間の計画です。そのため、本計画の実効性を高めるためには、人口動態や施設の立地状況、社会情勢変化、上位・関連計画の策定状況等に応じて、継続的に計画の評価を行う必要があります。都市再生特別措置法においても、概ね 5 年毎に施策の実施状況について調査、分析及び評価をする旨が記載されています。

これらの点を踏まえ、本計画では以下の PDCA サイクルの考え方にに基づき、計画策定後、施策の確実な実施と「8-1. 目標値の設定」で設定した目標値の達成度を踏まえて継続的に計画の評価を行い、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

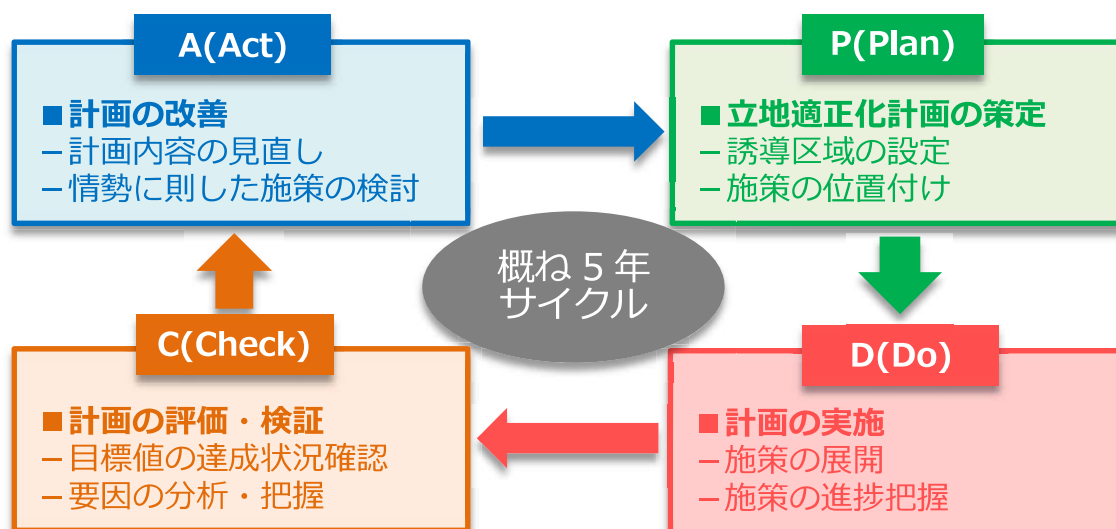


図 PDCA サイクルのイメージ